

## 第1回 復旦・関大経済フォーラム概要（案）

日 時：2010年6月26日～27日

場 所：上海市 復旦大学逸夫科学技術会館

主 催：関西大学経済・政治研究所、復旦大学日本研究センター

後 援：大阪府（予定）、大阪商工会議所（予定）、日中経済貿易センター

関西大学校友会経済人クラブ（予定）、その他

テーマ：「上海万博と大阪・上海の経済発展」

対 象：上海社会科学院、天津財経大学、復旦大学などの研究者、大学院生、日系企業の現地駐在員、関西大学経済人クラブ・上海関大会などの校友、その他の企業関係者

趣 旨：近年の中国経済の発展はめざましく、昨年度の経済成長率は8.7%に達しました。日本企業も本格的に中国進出を図り、日産自動車やコマツなどに見られるように中国事業が今や稼ぎ頭になってきています。世界の「工場」に加えて「市場」へと変化する中国経済とどのように向き合うかが今後の日本経済、企業の大きな課題となっています。

このような中で本年5月より半年間、中国経済の中心である上海において万国博覧会が開催されます。40年前には大阪で開催された万国博覧会は大阪の経済・社会に大きな影響を与えました。

そこでこの数年間研究プロジェクトの一つとして東アジアの研究に取り組んできた関西大学経済・政治研究所は、中国の有力な研究機関である復旦大学日本研究センターと共催で「上海万博と大阪・上海の経済発展」というテーマで経済フォーラムを開催することになりました。今回のフォーラムでは関西大学の校友も多数参加します。また上海万博の大阪館などを視察する予定です。

### ■2010年6月26日（土）

氏名（所属）	題 目	時間（分）	担当
司会：張浩川（復旦大学日本研究センター副所長）			
主催者挨拶 復旦大学側			
関西大学側 楠見晴重（関西大学学長）			
来賓挨拶 上海領事館、大阪府など予定			
青木俊一郎 （日中経済貿易センター理事長） 通訳：	テーマ「上海万博と日中経済協力の進展」	16：00～ 17：00（60）	
樊 勇明 （復旦大学国際問題研究院副院長） 通訳：	テーマ	17：00～ 18：00（60）	
第1回フォーラム記念パーティ		18：30～	

■ 2010年6月27日（日）

氏名（所属）	題 目	時間（分）	担当
コーディネーター：水野一郎（関西大学経済・政治研究所所長）			
九之池榮一 水野芳夫 （関西大学校友会経済人クラブ）	「大阪万博と大阪の経済・社会－大阪万博がもたらしたものの－」	9：30～ 10：20（50）	
<b>休 憩</b>		10：20～10：30（10）	
コーディネーター：陳建安（復旦大学経済学院教授）			
研究者 上海万博関係者	「上海万博と上海の経済・社会－上海万博がもたらすもの－」	10：30～ 11：20（50）	
【ディスカッション】 司会：陳建安（復旦大学経済学院教授）			
討論者（20分）：傅鈞文（上海社会科学院世界経済研究所）		11：20～ 12：00（40）	
討論者（20分）：復旦大学：			
<b>昼 食・休 憩</b>		12：00～13：30（90）	
【自由論題報告】研究報告および企業のケーススタディ 司会：小川博司（関西大学社会学部教授）			
①水野・吉城・木村（関西大学） 共同報告	「海爾と京セラの経営管理システムの比較研究」	13：30～ 13：50（20）	
②唐樂寧（聖泉大学教授）	「(株)平和堂の中国進出」(仮題)	13：50～ 14：10（20）	
③中野智之（ビジネスコンサルタント上海・上海関大会）	テーマ	14：10～ 14：30（20）	
【ディスカッション】			
討論者（20分）：横田和彦（上海宝産三和門業・上海関大会会長）		14：30～ 15：10（40）	
討論者（20分）：唐立鋒（上海日機装・上海関大会）			
<b>休 憩</b>		15：10～15：30（20）	
【自由論題報告】研究報告および企業のケーススタディ 司会：田昆儒（天津財経大学教授）			
①後藤健太（関西大学経済学部准教授）	「ベトナム・ラオスから見た中国のグローバル化」(仮題)	15：30～ 15：50（20）	
②復旦大学：	テーマ	15：50～ 16：10（20）	
③復旦大学：	テーマ	16：10～ 16：30（20）	
【ディスカッション】			
討論者（20分）：陳曉春（湖南大学教授）		16：30～ 17：10（40）	
討論者（20分）：前田正行（四季日中国際旅行社・上海関大会）			
<b>懇親会</b>		18：00～	

■ 2010年6月28日（月）

氏名（所属）	題 目	時間（分）	担当
【上海万博視察】	大阪館（大坂屏風図）他 を視察	9：30～	
関西大学校友会上海関大会との交流・懇親会		18：00～	

■ 2010年6月29日（火）

日本側参加者帰国（12：20または13：35 上海発）